

2022 年台湾直轄市、県市長選挙と 選挙後の局面

湯晏甄

(台湾・国立中央大学客家語文社会科学学科専門助理教授)

張傳賢

(台湾・中央研究院政治学研究所副研員)

【要約】

2022 年 11 月 26 日、台湾では統一地方選挙が実施され、直轄市長と県市の首長選挙が各界の注目を集めた。第 2 次蔡英文政権の中間試験とみなされ、2024 年総統選挙の前哨戦と位置づけられた同選挙は、論文不正スキャンダル、晶華スキャンダル、不透明なワクチン契約、汚職政治、公金の横領という 5 つのネガティブキャンペーンが話題となった。今回の選挙では、現職地方首長の多くが再選を果たしたが、民進党についてみると、様々な攻撃のダメージに加え、選挙に不利な環境も要因となり惨敗した。国民党は最大の勝者となり、柯文哲・台北市長（当時）率いる台湾民衆党のパフォーマンスも目を見張るものがあった。県市首長の政治的勢力図は、国民党の拡大、民進党の縮小、台湾民衆党の 1 ポスト獲得となり、台湾民衆党の躍進の如何が台湾の政党政治の持続と変遷に影響を与えることになるだろう。

キーワード：2022 選挙、ネガティブキャンペーン、施政満足度、現職優位

一 はじめに

2022 年 11 月 26 日に実施された台湾統一地方選挙（第 8 回直轄市長選挙、第 7 回縣市首長選挙）には、注目すべき点がいくつかある。一つ目は、同選挙が蔡英文政権に対する有権者の「信任・不信任」を問う選挙で、第 2 次蔡英文政権にとっては中間試験とみなされた点である。また、選挙後の 2023 年には、2024 年総統選挙の候補者選出が予定されており、本選挙結果は台湾の政党政治の勢力構造に影響を与えるのみならず、各政党の党首はリーダーとしての資質が問われ、さらに総統選候補者の人選にも影響を与えるため、2024 年総統選挙の前哨戦と位置づけられた。二つ目は、今回の選挙はネガティブキャンペーン一色となった点で、林智堅前新竹市長の「論文不正スキャンダル」が一連の「論文スキャンダル」ネガティブキャンペーンを巻き起こし、複数の縣市首長候補が暴露合戦を展開して、地方選挙は泥沼化した。三つ目は、台湾政治の第三勢力の一つである台湾民衆党が柯文哲主席の高い人気を支えに、若手が出馬した。この勢いが台湾二大政党の抵抗勢力となるか検証が待たれる展開となった点である。

最終的に、国民党が 14 縣市の首長を獲得し¹、大敗した民進党が獲得した縣市首長ポストはわずか 5 ポストで、結党以来、過去最低の獲得数となった点である。台湾民衆党は新竹市で初めての縣市首長ポストを獲得した。今選挙結果をどのように理解すべきかについて、上述の内容を整理し、本文では今回の台湾統一地方選挙及びいくつかの特徴的な県市長選挙に焦点を当て、選挙プロセス、選挙結

¹ 2022 年 12 月 18 日に実施された嘉義市の市長補選では、国民党が勝利し、これにより国民党が獲得した地方首長ポスト数は 14 となった。

果及び民進党の惨敗の原因を掘り下げ、本選挙の選挙状況とその結果が包含する意味を全般的に分析する。

二 2022 年直轄市長・県市長選挙戦のプロセス

2022 年台湾統一地方選挙の選挙プロセスの最大の特徴は、ネガティブキャンペーンであった。数名の学者が指摘している通り、「台湾の県市長選挙は小選挙区に属する相対的多数決で、その選挙戦の特徴は候補者の中から比較的まともと思える候補者を選出することにあり（Groenendyk 2008）、よって有権者は間違った候補者に投票するのを避けるため、ネガティブな情報を比較的受け入れようとする」（張傳賢 2012, 40）。2022 年の統一地方選挙は議題や政策にかかる討論を欠いており、地方選挙の重点は地方の政見に関する議論には置かれず、有権者の選択も比較的小眼鏡にかなう人物を選ぶにすぎなかった。各候補者や各政党もこうした趨勢を受けて「ネガティブキャンペーン」を展開し、そこからポイントを稼いだ（張峻豪 2022）。

いわゆるネガティブキャンペーンは、「対立候補のマイナスイメージ、政策、イデオロギー的立場等を全面的に利用し、対立候補を不利な選挙戦に迫りやること」を意味する（張傳賢 2012, 38）。ネガティブキャンペーンによってターゲットが受ける影響は主に「意図した効果」（intended effect）、「ブーメラン効果」（boomerang effect）、「犠牲者効果」（victim effect）、「両刃効果」（double impairment effect）の 4 つがある（張佑宗 2006；張卿卿 2000；張傳賢 2012；游清鑫 2001；Johnson-Cartee and Copeland 1991）。まず、「意図した効果」についてみると、ネガティブキャンペーンの情報はプラスの情報よりも有権者に受容され

易いため、ネガティブな情報は仕掛け人が意図したとおり、ターゲットはダメージを受ける。次に、「ブーメラン効果」とは、ネガティブキャンペーンによって仕掛けた側が逆に、ターゲットより大きなダメージを受けることを意味する。第三に、「犠牲者効果」は、ネガティブキャンペーンによってターゲットがより多くの同情を集めやすい効果を意味する。第四に「両刃効果」は、ネガティブキャンペーンは仕掛け人もターゲットも共にダメージを受けることを意味する（張傳賢 2012 ; Johnson-Cartee and Copeland 1989）。今選挙のネガティブキャンペーンのトピックにおいては、異なるターゲットに異なるネガティブ効果が生じた。今選挙戦におけるネガティブキャンペーンのトピックは、論文不正スキャンダル、晶華スキャンダル、不透明なワクチン契約、汚職政治、公金横領の 5 点で、以下でそれぞれ論じる。

本選挙のネガティブキャンペーンは、林智堅の「論文不正スキャンダル」から始まった。林智堅・元新竹市長は、政治成果も高評価で、民進党の桃園市長公認候補になったが、台湾大学国家發展研究所、中華大学科学技術管理学研究所の 2 つの修士論文の不正が指摘され、信任問題に発展したにもかかわらず、林智堅は事態に迅速に対処することができなかった。台湾大学は林智堅の論文盗用を認め、台湾大学修士の学位を取り消し、蔡英文総統兼党主席が、「党・公職を挙げて林智堅の潔白を支持する」と発表したため、党内の反発を招き、懸念と大学への反発が「火に油を注ぐ」ことになった（政治中心 2022）。これに次いで、中華大学も林智堅の論文盗用を発表して、中華大学が修士の学位を取り消した。その後、林智堅は不出馬を表明し、現職立法委員の鄭運鵬が桃園市長に出馬した。ネガティブキャンペーンの効果からすると、林智堅の論文不正スキャンダルをめぐる盛り上がりは、単に林智堅に対して「意図した効

果」を与えたのみならず、民進党党员にも懸念が広がる結果となった。高嘉瑜・民進党立法委員が、林智堅の論文不正スキャンダルは、民進党にとって、台北・新北・基隆・桃園・新竹の北部 5 県市の「共倒れ」を懸念させると率直に述べていたように、これが民進党の北部首長選挙の惨敗につながった可能性がある。林智堅の論文不正スキャンダルはネット上でも大きな議論となり²、候補者の修士論文・博士論文を検証して盗用を暴露する展開となり³、今選挙における一連の「論文スキャンダル」をめぐるネガティブキャンペーンに発展した。

ネガティブキャンペーンの二つ目のトピックは、「晶華スキャンダル」である。今選挙では、民進党寄りのジャーナリストである周玉蔻が、蔣萬安・国民党台北市長候補の父親である蔣孝嚴の古い女性スキャンダルについて、しっかりとした確証を得ないまま女性の氏名を暴露したため、当事者が告訴する事態となった。多くの有権者は選挙のために第三者を誹謗中傷すべきでないと考え、また周玉蔻がかつて、「陳時中に投票することは、周玉蔻に投票することを意味する」と発言したこともあり、マイナスの世論は却って民進党台北市長候補の陳時中に向けられることになった。陳時中と周玉蔻は袂かったが、周玉蔻の民進党寄りのイメージが有権者の心に深く刻まれた。TPOC 台湾問題研究センターのデータ分析によると、周

² 『TPOC 台湾議題研究中心』の「QuickseeK 快析輿情資料庫」に基づくと、2022 年 7 月 5 日から 9 月 22 日におけるネットコメント数は、林智堅が 807,809 件で 1 位と、2 位の高虹安の 72,141 件を大きく上回った（李俊毅 2022）。

³ 論文不正疑惑が指摘されたのは、高虹安・民衆党新竹市長候補の博士論文、許淑華・国民党南投県長候補の修士論文、蔡適應・民進党基隆市長候補の博士論文、林耕仁・国民党新竹市長候補の修士論文、柯志恩・国民党高雄市長候補のジャーナル掲載論文、謝国樑・国民党基隆市長候補の修士論文、劉建国・民進党雲林県長の修士論文、張麗善・国民党雲林県長候補の修士論文。

玉蔻がスキャンダルを暴露したことで、「却って陳時中と蔣萬安の得票率の予測数値はゴールドクロスを呈し、陳時中に対するマイナスイメージはより深刻で、無所属から出馬した黃珊珊の支持率が急速に上昇した」（黃嫻涵、張國樑、張梓嘉 2022）。ネガティブキャンペーンの効果からすると、周玉蔻が巻き起こした「晶華スキャンダル」は、一方では「ブーメラン効果」となって陳時中にダメージ与え、他方では「犠牲者効果」によって蔣萬安の支持率が高まった。

三つ目のネガティブキャンペーンのトピックは「不透明なワクチン契約」である。民進党台北市長候補の陳時中は、衛生福利部部長兼中央流行疫情指揮センター指揮官を担当していたため、陳時中は民進党政権の新型コロナウイルス感染症対策の象徴だった。国民党は今選挙でワクチンの政府調達に関する書類が「30 年秘密保持」で、契約内容が非公開となっている点をブラックボックスだと批判した（謝文哲 2022）。政府と MVC-COVID-19 のワクチン調達価格には 6 億円の差額があると疑義を呈し、陳時中に「出馬を断念して責任を追うべき」と迫った（黃建豪 2022）。このワクチン契約をめぐるネガティブキャンペーンについて、TPOC 台湾問題研究センターの QuickseeK を通じた分析とデータベースによると、「ワクチン契約問題はネット上で高い関心を集め、6 日連続でコメント数は 1 万件に達し、1 日あたりのコメント数は最高レベルの 2.8 万件を記録した。……ワクチン購入契約に対する批判によって、有権者は『民進党への不満』『陳時中への嫌悪』に共鳴しやすくなった」（TPOC 台湾問題台研究センター2022）。このネガティブキャンペーン攻撃は「意図した効果」を得て、陳時中はダメージを受けた。

四つ目のネガティブキャンペーンのトピックは「汚職政治」で、汚職問題は、「クリーンで慎み深い政治」をスローガンにする民進

党には、ダメージとなった。選挙 1ヶ月前に蔡英文陣営は共同記者会見を開催し、「汚職政治の撲滅」の文書に署名したが、民進党には選挙前に相次いで「汚職政治」の疑惑が湧き上がった。蔡英文の総統任期中に、総統府国策顧問（2017 年 2 月～2021 年 5 月）兼民進党中央常務委員会を務めた黄承国が、反社会的勢力「天道盟」文山会第二代会長であったため、「反社会的勢力による治国」が争議となった。その後、発生した「88 会館案」⁴ をめぐって地検署が闇市場グループを捜査したが、逆に検察官や政界、ビジネス界のハイレベル関係者が 88 会館招待所の開設事案に関わっていたことが相次いで明るみになり、各界は騒然となった。さらに台南市では選挙の 6ヶ月前に「学甲スラグ案」も発生した。同事案は、明祥馨会社が台南学甲区大湾コミュニティの農地に違法にスラグを埋却していたことが発覚し、事件発覚後、2015 年には 5 万トン以上を掘り起こしたが、2019 年に再び同地区のその他の農地にも 4 万 3000 トン以上を埋却していたことが明らかになった（yahoo 新聞 2022）。明祥馨会社の責任者は、当時の民進党中央執行委員の郭再欽で、政界やビジネス界での評判は極めて良好だった。同案は監察院による調査の結果、台南市政府の検査怠慢と認定され、学甲における大量のスラグ埋却事案によって、台南市政府は糾弾された（呉書緯 2022）。偶然にも、台南市では選挙 16 日前に台湾全体を震撼させる「台南 88 銃撃案」が発生した。容疑者は、早朝にまず台南市学甲頂山寮に向かい、郭再欽・民進党前中央執行委員が売りに出している工場に 58 発発砲し、続いて台南市議員謝財旺の学甲サービス処に 30 発を発砲した（楊金城 2022）。メディアは、この重大発

⁴ 「88 会館」とは、台北市松勤路 88 号の高級マンション内にあったプライベートクラブ。

砲事件は、台南沿海光電業の膨大な利益が均等に配分されておらず、銃撃によって恫喝・警告しようとしたことが動機だった可能性がある」と報じた（中央社 2022）。上述を受けて、国民党グループは選挙前に記者会見を開き、民進党を「反社会的勢力による治国」と批判した（曾吉松 2022）。しかし、民進党は有権者にはっきりと説明することもできず、様々な重要な案件は解決を見ないまま、今回の選挙では「汚職政治」の影がつきまとった。このネガティブキャンペーンは民進党に対して「意図した効果」を発揮し、民進党のダメージは大きかった。

五つ目のネガティブキャンペーンのトピックは、高虹安・台湾民衆党新竹市長候補者の「公金横領」疑惑である。今回の新竹市長選挙の主要候補は、台湾民衆党所属の高虹安・比例区立法委員（現職）、民進党公認の沈慧虹・新竹市副市長（現職）、国民党公認の林耕仁・新竹市議員の3名だった。「論文スキャンダル」は高虹安の博士論文にも飛び火し、高虹安は記者会見を開いて潔白を主張したが、自身がかつて高学歴で成績優秀であったことや、学歴差別を含む発言をしたことで、さらなる論争に発展した。続いて高虹安は、財団法人資訊工業策進会の任期期間中に合計 547 日に及んで出張や訪米研修に行き、これに公金を使用したことが指摘された（王駿杰 2022）。その後、林耕仁候補がリーク資料を利用し、一気にネガティブキャンペーンを仕掛け、国会アシスタント費の横領、水増し請求、公的積立金への補填等の疑惑を指摘し、高虹安に対するネガティブな声は一層強くなった。一連のネガティブなニュースによって、新竹市長候補者の世論調査にも変化が現れた。TVBS の世論調査結果によると、選挙 1ヶ月前に支持率が最も高かった高虹安は、選挙 2週間前には、民進党候補者・沈慧虹との差が僅か 5%に縮まり、逆に林耕仁の支持率は 2%ダウンして第3位になった

(TVBS 民意調査中心 2022a)。沈慧虹の支持率上昇によって、新竹市長の選挙戦はさらに激しさを増し、林耕仁は高虹安の告発書類を調査局北機站に持ち込むとまで宣言したが、林耕仁はわずか 1 週間で態度を改め、「誹謗中傷はしない」として、調査局北機站への告発書類持ち込みを取りやめた(李昶毅 2022)。メディアは、林耕仁が高虹安への攻撃から突如手を引いたのは、「国民党内部の評価もその一因で、国民党と台湾民衆党の叩き合いは、林耕仁の勢いを十分に高めたが、高虹安共々敗退しかねず、中間派が逆に沈慧虹の支持に回る可能性があるため、急ブレーキをかけることになった」と報じている(張介文 2022)。言い換えると、林耕仁のネガティブキャンペーンは「両刃効果」を生み、高虹安と林耕仁自身にダメージを与え、逆に民進党の沈慧虹が漁夫の利を得た。この他特徴的だったのは、高虹安に対する極めて強い批判が新竹市の選挙戦にも影響を与え、台湾全体の注目を集めた点で、これは台湾の地方選挙史上初めての状況でもある(陶本和 2022)。

三 2022 年台湾直轄市、県市首長選挙の結果

2022 年直轄市長選挙の投票率は 59.86%、県市首長選挙の投票率は 64.20%で、投票率は伸び悩んだ。直轄市長選挙では、国民党が 6 都市中 4 ポスト、民進党が 2 ポストを獲得した。県市首長選挙では、国民党が 16 都市中 10 ポスト⁵、民進党が 3 ポスト、台湾民衆党が新竹市の 1 ポスト、無所属は苗栗県、金門県でポストを獲得し

⁵ 嘉義市長選挙は、市長候補者が選挙期間中に死去したため、今回の統一地方選挙と同時開催されなかった。中央選挙委員会は、嘉義市第 11 回市長選挙は、公職人員選挙罷免法第 30 条第 1 項規定に基づき、嘉義市第 11 回市長選挙を取りやめ、改めて 2022 年 12 月 18 日に選挙を開催するとした。選挙の結果、現職の嘉義市長で国民党公認候補の黄敏惠が当選した。

た。総体的にみると、22 県市で、国民党が 14 ポスト、民進党が 5 ポスト、台湾民衆党が 1 ポスト、無所属が 2 ポストで、同選挙で民進党は惨敗した。民進党は 22 ポスト中わずか 5 ポストを獲得するにとどまり、結党以来最低の獲得数となったのみならず、北台湾の桃園市、基隆市、新竹市の 3 県で再選を逃し、民進党の県市首長の勢力範囲は、北港溪以南まで後退した（陳政嘉 2022）。

22 県市の得票率を掘り下げ、前回 2018 年直轄市長及び県市首長選挙と比較すると、表 1 及び表 2 の通りとなる。まず、表 1 の直轄市長選挙をみると、新北市、台中市、台南市及び高雄市では現職市長が再選を果たし、台北市と桃園市では、現職市長が支持する候補者は敗退した。より詳細に分析すると、国民党は新北市と台中市で再選を果たし、台北市と桃園市のポストを奪回した。台北市長選挙は、「三つ巴」となり、現職立法委員で国民党公認候補者の蔣萬安は、選挙戦開始当初においては、柔和な人柄で勢いも民進党公認候補の陳時中に及ばなかったが、ジャーナリストの周玉蔻が蔣萬安の父親である蔣孝嚴に関する古いスキャンダルを持ち出すと、周玉蔻は有権者のひんしゅくを買った。さらには、「陳時中に投票することは、周玉蔻に投票すること」と発言したため、陳時中を支持する一部の間派は逆に見切りをつけ、蔣萬安を押す声が高まった。無所属の台北市長候補である黃珊珊は、台北市議員として 21 年、台北副市長として 3 年の実績があり、若者の支持を得ていたが、今回の選挙では選挙戦後半に国民党及び民進党の支持者がそれぞれの支持政党の応援に戻ったため、政党の後ろ盾がない黃珊珊は、台湾民衆党の支持を得られただけだった。現職台北市長で台湾民衆党主席の柯文哲は高い人気を誇っていたが、その人気を黃珊珊への支持に繋げることはできなかった。台北市の政治成果も理想的であるとは

言えず⁶、黄珊珊・台北副市長（現職）は台北市の業績を以って選挙戦をリードすることはできなかった。最終的に、台北市は国民党と民進党の従来 of 支持基盤構造に落ち着き、黄珊珊は 3 位に終わった。

桃園市をみると、民進党は政治成果が好評の林智堅・新竹市長を横滑りさせて桃園市長候補としたが、林智堅は「論文スキャンダル」を受けて、早々に不出馬を宣言した。選挙 3ヶ月前、民進党は鄭運鵬・立法委員を桃園市長に擁立したが、出遅れた上に、選挙戦自体もネガティブキャンペーン一色となり、惨敗した。

比較的注目を集めたのは、元々民進党の牙城である台南市で、民進党は辛くもポストを獲得したが、現職市長で民進党公認候補の黄偉哲の得票率は、台南市議員で国民党公認候補の謝龍介の得票を僅か 5.17%上回ったにすぎず、2010 年に台南市が直轄市に昇格して以降、最小の得票差となった。これには様々な要因が背景にある。黄偉哲個人としてのインパクトのなさに加え、農地のスラグ埋却問題、台南市鉄道路線の地下化計画にかかる立退き問題、長栄女子大生殺害事件に対する市長の不適切な発言⁷、学甲 88 発砲事件など、黄市長は様々な政治課題を抱えただけでなく、ネガティブキャンペーンの煽りも受けた。謝龍介は、納骨業者による黄偉哲への接待や収賄問題を指摘し（蔡晉宇 2022）、国民党議員は逆に黄偉哲が明祥馨公司責任者の郭再欽と癒着関係にあると批判し（杜忠聰

⁶ 『天下雑誌』が毎年実施している県市長首長の執政満足度調査によると、2020 年から 2022 まで、3 年連続で柯文哲・台北市市長の執政満足度が全台湾最低となっている（天下編輯部 2022）。

⁷ 台南・長栄大学のマレーシア籍女子学生の誘拐殺人事件をめぐる発言。現場の道路が暗いことを疑問視する声に対して黄市長は「本当に道全体が真っ暗なのか」と発言したことをきっかけに、同大学学生らを中心に非難の声が上がった。

2022)、民進党を「汚職治国」と非難した。翻って、謝龍介の個人的イメージはインパクトがある上、地に足がついており、更には「高齢者の健康保険料補助」の公約を打ち出したことで、台南市民の心を掴んだ。なんと民進党の 11 名の市議員までもが謝龍介に続いて高齢者の健康保険料免除を訴え、逆に黄偉哲は同公約を激しく非難したことから、一部の有権者は一般市民の声は市長には届かないと感じることになった（辛啓松 2022）。紆余曲折を経て、『菱傳媒』が選挙 1ヶ月前に発表した台南市長候補者の世論調査によると、黄偉哲の支持率は 44%と、謝龍介の 36.38%を僅かにリードし、その差は 8 ポイントにとどまった（菱傳媒 2022）。最終的に黄偉哲は 5.17%の僅差で謝龍介に辛勝した。

総体的にみると、今回の直轄市長選挙は、新北市、台中市、台南市及び高雄市の 4 ポストで現職の市長が再選を果たした。また民進党は、6 都市（直轄市）のうち、同党が執政してきた桃園市で敗れ、支持基盤が強い台南市でさえ僅差での勝利となった。今回の直轄市長選挙は、地方の現職首長の優勢と中央政府の政治パフォーマンスは相互補完にあって、重要な役割を担っていることを示している。

表 1 2022 年及び 2018 年の台湾直轄市長選挙得票率

	2022			2018		
	国民党	民進党	その他	国民党	民進党	その他
1. 台北市	*42.29%	31.93%	無所属 (黄珊珊) 25.14%	40.81%	17.28%	* 無所属 (柯文哲) 41.06%
2. 新北市	*62.42%	37.58%		*57.14%	42.85%	
3. 桃園市	*52.02%	40.03%		39.41%	*53.46%	

	2022			2018		
	国民党	民進党	その他	国民党	民進党	その他
4. 台中市	*59.35%	38.93%		*56.56%	42.34%	
5. 台南市	43.63%	*48.80%		32.36%	*38.01%	
6. 高雄市	40.16%	*58.10%		*53.86%	44.79%	

注：*は当選の意味。

出所：中央選挙委員会選挙及公投資料庫。

次に表 2 が示すのは、2022 年及び 2018 年の台湾県市首長選挙の得票率である。16 県市のうち、宜蘭県、新竹県、彰化県、雲林県、嘉義県、嘉義市、台東県、花蓮県、澎湖県及び金門県の 10 県市で現職の首長が再選を目指したが、澎湖県と金門県の 2 県は再選を果たせず、残りの 8 県市では再選した。更に詳しくみると、澎湖県では国民党が分裂した。再選を目指す国民党の頼峰偉・現職澎湖県長、無所属から出馬した前国民党籍の葉竹林・馬公市長、民進党公認の陳光復・元澎湖県長が競り合う「三つ巴」の戦いとなった（黄皓筠 2022）。3 名は激しい選挙戦を繰り広げ、お互いにネガティブキャンペーンを展開し、メディアの報道によると、頼峰偉は、「陳光復が任期中に遠航樺澎公司与『不平等条約』を締結したため、県政府は重光度假村 BOT 案の契約破棄後、1 億 6000 万元あまりの賠償を請求できなくなった」として、陳光復が県の財政を食い尽くしたと批判した。陳光復もまた、頼峰偉は湄京風櫃土地案をめぐって大澎湖集団に利益誘導したと反撃した（張茂雄 2022）。葉竹林は国民党と民進党の双方を批判した。3 名の得票率は拮抗し、そろって 30%を得票したが、民進党の陳光復が僅か 3.31%の得票差で頼峰偉に競り勝った。

金門県長の投票行動は、以前から宗親会の影響を強く受けてい

る（王宏男 2021；林政緯、陳慧菁 2016；張世熒、許金土 2004；陳建民、李能慧、呂怡艷 2005）。姓が「陳」、「李」の勢力が 25 年に渡って金門県の地方政治を掌握しており、国民党県長の楊鎮渥は、「李」姓の勢力と同盟を結んで（王宏男 2021）、再選を目指した。無所属の陳福海は陳氏宗親会が推薦する県長候補者で、2014 年に金門県長に当選し、また金門最大勢力の宗親会の支持もあって（林政緯、陳慧菁 2016, 39）、地方勢力の強い後ろ盾がある。両名は 2018 年県長選挙でも争っており、今回は二大巨頭による再対決で、激しい選挙戦を繰り広げてネガティブキャンペーンを展開した。楊鎮渥は、陳福海が県長任期中の「東北試釀案」において「当時の県政府は何度も金門酒廠公司に対し、酒麴を中国遼寧に運んで、試作をするように要求したが、これは金酒公司取締役会の決議を経ていないもので、会社法に違反する」と指摘し（吳正庭 2022）、陳福海に立候補を辞退するよう要求した。陳福海は、楊県長家族が特権を利用して金酒公司から市場より安い価格で 1,200 本の金門高粱酒を購入し（李成蔭、蔡家蓁 2022）、中国と「天福密約」を結んだことは、金酒公司（于家麒 2022b）に損害を与えるものと訴えた⁸。楊鎮渥の「家族による金酒購入の特権」と「天福密約による金酒の買い尽くし」は、楊県長に対する有権者の信用を揺るがすものと批判し、結果、陳福海が当選した。

その他現職首長が再戦を果たせなかった県市をみると、民進党は新竹市と基隆市でポストを獲得できなかっただけでなく、前回選

⁸ 「天福密約」問題は、2022 年 10 月 24 日に金門地区で持ち上がった長楊鎮県長が特定のグループを優遇し、金酒ブランドの広告を安売りしたとする疑惑。金酒と天福グループが、保証金無し、最低購入量無し、違約金無しの 10 年契約の密約を交わしたと指摘した（于家麒 2022a）。

挙で圧勝した屏東県で危うくポストを逃すところだった。まず、新竹市についてみると、新竹科学園區の設立によって、ハイテク関連人材が多く移住したことから、中産階級が多く、平均年齢は台湾で最も低い。人口構造の変化もまた政治に影響を与えており、以前は国民党支持が民進党支持を大きく上回っていたが、現在では国民党と民進党の勢力が拮抗している（黃國敏、吳皓瑀 2018）。2014 年の市長選挙では、民進党の林智堅がダークホースとなって新竹市長に当選し、2018 年も順調に再選を果たした。8 年の政治成果に対する有権者の評価は高く「5 つ星の市長（五星級市長）」と評された。民進党は林智堅を桃園市長候補として公認したが、その後、林智堅は「論文不正スキャンダル」のため窮地に陥った。林智堅の後を継いで新竹市長候補となった沈慧虹・元新竹市副市長は、林智堅の「論文不正スキャンダル」の煽りを受け、高評価だった林智堅の政治成果を受け継ぐことができなかった。国民党は 24 年の政治経験があるベテラン議員の林耕仁を公認して市長選に挑んだが、林耕仁にもまた修士論文盗用を報じられた。TVBS の世論調査によると、林耕仁は選挙 4 ヶ月前には支持率でリードしていたが、新竹市長候補の高虹安・台湾民衆党比例区立法委員に対する批判が高まって台湾中の注目を集め、さらには林耕仁が高虹安の「アシスタント費横領」を厳しく批判した結果、新竹市の選挙戦は当初の民進党と台湾民衆党の対決から、国民党と台湾民衆党の対決へと移り、民進党の沈慧虹が漁夫の利を得る形となった（晏明強 2022）。選挙 1 ヶ月前の支持率をみると、林耕仁は第 3 位で、高虹安がトップに躍り出た（TVBS 民意調査中心 2022）。反民進党の間では「林を見切って、高を守った」とも言われ、余邦彦・国民党新竹市副議長は、「寝返って」国民党公認候補の林耕仁を支持せず、「高虹安へ票を集中させない限り、民進党を引き降ろせない」（呂欣芷 2022）と

公に発言した。高虹安はネガティブキャンペーンの中で、国民党と民進党から激しい攻撃を受け、ネガティブなニュースに翻弄されたにもかかわらず、世論調査では 1 位になった。これは、高虹安が第三勢力に属していることに加え、高学歴にしてハイテク専門家というバックグラウンドが新竹市の若者やハイテク産業に関わる有権者の支持獲得に繋がったと考えられる。更に、郭台銘・フォックスコングループ創設者、宣明智・聯電榮譽董事長など著名な企業関係者が支持を表明したことも、ハイテク産業に従事する有権者に対して大きな説得力を持ったと見られる。最終的には、高虹安が当選し、新竹市史上最年少の市長が誕生した。

次に、基隆市についてみると、基隆市はもともと国民党が民進党より強い基盤を持っていたが、2014 年の市長選挙では国民党の分裂によって、民進党の林右昌が当選した。8 年市長を務めた林右昌の評価は高く、2022 年の施政満足度も 8 割が満足と回答した⁹。今回の選挙において、民進党は公民監督国会聯盟から 12 回も表彰された立法委員の蔡適應を公認、対する国民党は立法委員を 3 期務めた謝国樑を公認した。謝国樑は政界から 6 年間離れていたが、娘が重度の聴覚障害児であるため、近年では福祉公益に尽力してきた。2020 年末には公益プラットフォーム「小愛爸爸（愛ちゃんのパパ）」を立ち上げ、今回の選挙では「小愛爸爸」をスローガンに社会福祉を重視する父親像を全面に打ち出して有権者に訴えた。更に、一家は三代に渡って基隆でビジネスを展開していることから、地元の支持も強く、蔡適應は苦戦を強いられた。今選挙では、双方とも五分五分の情勢であり、激しいネガティブキャンペーンが展開

⁹ 『遠見雑誌』が 2022 年に実施した県市長調査によると、林右昌・基隆市長の施政満足度は 81.9%となっている。

された。「林智堅論文スキャンダル」の煽りも受け、蔡適應には台北大学博士論文盗用疑惑が、謝国樑にも政治大学修士論文の盗用疑惑が持ち上がった。さらに蔡適應が謝国樑は海外企業のマネーロンダリングに関わっていると批判すると、逆に謝国樑は、蔡適應が反社会的勢力と緊密な関係にあると批判した（郭瓊俐 2022）。最終的に、選挙戦は国民党対民進党の従来に対決構造に戻り、蔡適應は林右昌の政治成果を中間派の支持に拡大できず、敗退した。

第三に、屏東県をみると、屏東県では以前から民進党への支持が国民党への支持を大きく上回っており、1997 年の第 1 回市長選挙以降、歴代の屏東県長ポストは民進党が維持してきた。2014 年から 8 年間に渡って屏東県長を務めた潘孟安の評価は高く、施政満足度も 4 年連続で全国 1 位だった（魏斌 2022）。今回の選挙で、民進党は周春米・比例区立法委員を後継者として公認し、国民党は蘇清泉・前比例区立法委員を公認した。屏東県は元々民進党の牙城で、潘孟安の施政も高評価だったことから、周春米が難なく蘇清泉をリードすると目されていたが、『菱傳媒』が選挙 1ヶ月前に行った世論調査では、周春米の支持率は 37.28%、蘇清泉の支持率は 34.89%で、2.39%の僅差と拮抗し（司馬一青 2022）、国民党・民進党両党の高い注目を集めることになった。これには主に以下 3 つの原因がある。一つ目は、屏東県長候補者の公認にあたって、民進党内部で派閥闘争が発生した点で、予備選には新潮流派の立法委員である鍾佳濱、蔡英文總統を代表とする英派の立法委員である莊瑞雄、国民党林派の周春米の 3 名が挑み、かつそれぞれの候補者を曹啟鴻・元県長、蘇嘉全、潘孟安が支持した（蔡慧貞 2022）。最終的には、潘孟安が行政リソースを動員して周春米を支持した結果、他 2 名の候補者及び支持者は不満を募らせ（吳采黎 2022）、無投票を呼びかける者まで現れた。二つ目は、弁護士出身の周春米

のキャラクターが潘孟安には及ばなかった点で、潘孟安の全国 1 位の施政満足度を周春米支持に繋げることができなかった。三つ目は、本選挙を取り巻く状況が民進党に不利だったことに加え、選挙半年前の「種樹百里工程（植樹 100km プログラム）」が有権者の不満を呼んだことが挙げられる（陳崑福 2022；蔡宗憲 2022；羅琦文 2022）¹⁰。最終的には、周春米が 2.5% の僅差で蘇清泉に辛くも競り勝ち、民進党はなんとか屏東県のポストを死守した。

総体的にみると、今回の県市首長選挙は、16 県市の首長のうち、10 名の現職首長が出馬し、8 名が再選を果たした。うち、国民党現職が 7 名、民進党現職は 1 名のみだった。この他、民進党は 8 年にわたって執政していた基隆市と新竹市で敗れ、民進党の支持基盤である屏東県ではなんとかポストを死守した。基隆市、新竹市と屏東県の民進党首長の政績は高評価だったにもかかわらず、その業績を後継候補への支持に繋げることができなかった。これは、一方では今回の県市首長選挙では、民進党公認候補は多くの有権者からの支持を得られなかったこと、他方では、有権者の蔡英文政権に対する不信任を示すものだと言える。

¹⁰ 行政院は 7 月から 48.8 億円の経費を投入して、高屏大橋から鵝鑾鼻の総距離 112km の区間で「種樹百里工程（植樹 100km プログラム）」を開始したが、工事期間中に何本もの道路を一時通行止めにしたため大渋滞が発生し、夜間には照明不良のため交通事故も多発し、さらには臨時迂回路の舗装工事が甘く、車の免震装置やタイヤが破損する等し、多くの市民が反発した。地方の SNS グループでは「投票によって政策決定者に教訓を与えよう」との声も上がった（陳崑福 2022；蔡宗憲 2022；羅琦文 2022）。

表 2 2022 年及び 2018 年台湾県市長選挙の得票率

	2022			2018		
	国民党	民進党	その他	国民党	民進党	その他
1. 基隆市	*52.92%	39.01%		45.85%	*54.14%	
2. 宜蘭県	*50.76%	41.13%		*49.48%	38.22%	
3. 新竹県	*63.36%	32.40%		*38.19%	27.68%	
4. 新竹市	18.07%	35.68%	* 民衆党 (高虹安) 45.02%	27.87%	*49.57%	無所属 (謝文進) 20.31%
5. 苗栗県	10.96%	31.24%	* 無所属 (鍾東錦) 42.66%	*57.74%	---	無所属 (徐定禎) 37.02%
6. 彰化県	*56.75%	41.94%		*53.17%	39.87%	
7. 南投県	*55.99%	42.83%		*66.71%	33.28%	
8. 雲林県	*56.57%	41.60%		*53.83%	41.72%	
9. 嘉義県	37.15%	*62.85%		29.54%	*50.95%	
10. 嘉義市	*63.82%	34.95%		*41.18%	39.56%	
11. 屏東県	46.59%	*49.09%		42.01%	*55.89%	
12. 台東県	*61.22%	36.65%		*59.05%	37.03%	
13. 花蓮県	*64.73%	32.04%		*71.52%	25.87%	
14. 澎湖県	33.33%	*36.64%	無所属 (葉竹林) 30.02%	*38.87%	32.78%	
15. 金門県	41.05%	---	* 無所属 (陳福海) 49.34%	*47.77%	---	無所属 (陳福海) 46.14%
16. 連江県	*42.12%	6.89%		*65.61%	---	無所属 (朱秀珍) 17.33%

注：* は当選の意味。

出所：中央選挙委員会選挙及公投資料庫。

四 民進党大敗の原因

1 与党に不利な環境

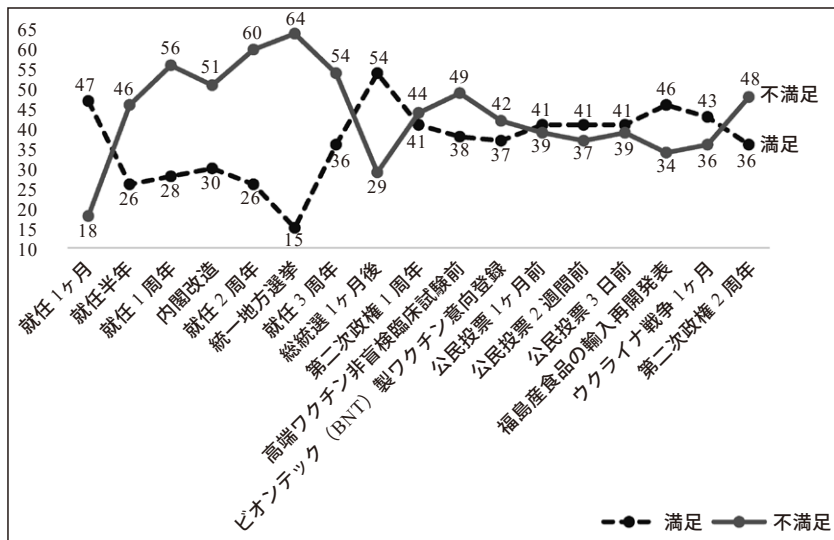
民進党は、政権与党となった期間中、ウクライナ戦争、世界的なエネルギー・食料不足、インフレ、新型コロナウイルスの蔓延といった世界経済にダメージを与える様々な深刻なグローバル政治・経済課題に直面した。こうした環境は国内経済にも影響を与え、有権者も貧富の拡大、物価上昇、経済的停滞、不動産価格高騰、給与未払い等の生活に直結する問題として直接感じるようになり、政権与党への不満が募っていた。

2 蔡英文政権の政治成果の足枷となる新型コロナウイルス感染拡大

新型コロナウイルス感染拡大は蔡英文政権の政治成果にも影響を与え、最近では蔡英文総統の施政に対する満足度は総統就任以来、過去最低を記録している。図 1 は蔡英文の 2016 年総統就任 1 ヶ月後から 2022 年再当選 2 年目までの施政満足度を示したもので、第 2 次政権 1 周年以降についてみると、高端ワクチン非盲検臨床試験前と第 2 次政権 2 周年のタイミングで、施政に対する不満足度が満足度を 11% 近く上回った。そのうち、第 2 次政権 2 周年前後の有権者の不満足度は 48%、満足度は 36%、満足度は過去最低を記録し、不満足度が満足度を逆転した。2022 年 5 月から新型コロナウイルスが感染拡大し、1 日あたりの感染者数が 1 万人を突破し、5 月の感染者数が 10 万人の大台に迫ったため有権者の懸念が高まったのに加え、コロナ検査キットや子どものワクチン接種等の問題もまた議論となった (TVBS 民意調査中心 2022b)。TVBS 世論調査センターによる「蔡英文第 2 次政権 2 周年満足度世論調査」では、政府の新型コロナ対策に対し、満足と回答した有権者の比率は

2021 年 5 月時点では 61% だったが、2022 年は 38% まで激減したと指摘した。逆に、不満を抱く有権者の比率は 2021 年 5 月時点では 33% だったが、今年は 54% に増加し、過半数以上の有権者が不満を示した。これは、新型コロナウイルスの感染が 2022 年に入って拡大したのに伴い、多くの有権者が政府の対応に不満を抱くようになったことを示している。

図 1 蔡英文任期中の施政満足度（2016 年 6 月～2022 年 6 月）



出所：TVBS 民意調査中心。

3 林智堅の論文不正スキャンダルをめぐる甘い対応

林智堅の論文不正スキャンダルが報じられると、大きな騒ぎとなつて、一連の論文盗用疑惑が暴露され、今回の選挙はネガティブキャンペーン一色となった。しかし、民進党の林智堅論文不正スキャンダルに対する対応は甘く、台湾大学が修士学位の撤回を発表して

も、蔡英文総統兼党主席は依然として林智堅を支持したことで、各界は騒然とした。林智堅の論文不正スキャンダルをめぐる民進党の対応に対する有権者の見方について、游盈隆・台湾民意基金会董事長は、選挙後に選挙前は未公表の世論調査結果を発表した。同調査結果によると、「林智堅・前民進党桃園市長候補者は、台湾大学及び中華大学から論文不正により、修士学位を撤回された。蔡英文総統兼党主席は、台湾大学が林智堅の学位を撤回後も、『全党・公職を挙げて林智堅の潔白を支持する』と表明したが、蔡英文の同行動を支持するか？」との問いに対し、6割強が支持しない、僅か21%が支持すると回答した。うち、20～34歳の有権者の7割以上は支持しないと回答しており、支持政党の如何に関わらず、支持しないと回答した人が支持すると回答した人を大きく上回った。また、居住する縣市の如何に関わらず、全体的に不支持が多数を占め、民進党の支持基盤である台湾南部や林智堅の選挙区だった桃園市でも同じ結果となった（游盈隆 2023）。これは、多くの有権者が林智堅の潔白を訴えた蔡英文を支持していないことを意味している。

4 汚職問題と深刻な治安問題

選挙前には、88発砲事件、台湾人アルバイトのカンボジアにおける人身売買事件、新北及び桃園での求職者誘拐・拘留事件等、一連の深刻な治安問題が発生し、政権与党に対する有権者の信任に影響を与えた（陳昀 2022）。民進党は即時に明確な説明をすることができず、国民党は「反社会的勢力による治国」と批判し、有権者は民進党の政治運営に疑問を抱くことになった。

5 ネガティブキャンペーンと対立候補による「民進党降ろし」キャンペーンの相乗効果

今回の選挙はネガティブキャンペーン一色に加え、上述の 4 点の要素が入り混じり、ネガティブキャンペーンは民進党に大きなダメージを与えた。この他、国民党は選挙戦の争点を「民進党降ろし」に置き、ネガティブキャンペーンを展開して、民進党のダメージを広げた。林智堅と高虹安のケースは、絶好の対比と言える。林智堅と高虹安も同様にネガティブキャンペーンに直面したにもかかわらず、なぜ林智堅は民進党の惨敗に全面的な影響を与え、逆に高虹安は当選したのだろうか。そのポイントは、ネガティブキャンペーンと国民党の「民進党降ろし」を軸とした選挙キャンペーンが相互補完となっていた点にある。ネガティブキャンペーンは高虹安にも大きなダメージを与え、国民党の新竹市長公認候補である林耕仁は、高虹安に対し強烈なネガティブキャンペーンを展開し、選挙 2 週間前には世論調査にも変化が現れた。高虹安の支持率が低下して、民進党公認候補の沈慧虹の支持率が上昇し、その差が 5%にまで縮まったのに対し、林耕仁の支持率は低下して第 3 位となった（TVBS 民意調査中心 2022a）。国民党は「民進党降ろし」を主要目標に掲げていたが、攻撃し続ければ、逆に民進党の沈慧虹が当選するのではと懸念し、林耕仁は最終的には攻撃の手を緩めた。国民党内部には、「民進党降ろし」のために、「林を見切って、高を守る」として、高虹安支持を公表する者まで現れ、高虹安は泥沼化したネガティブキャンペーンを乗り切った。総体的には、ネガティブキャンペーンに、対立候補の「民進党降ろし」を軸とした選挙キャンペーンが相まって、民進党は大きなダメージを受けた。

五 結論：2022 年台湾直轄市長、県市長選挙の結果と選挙後の局面

2022 年の台湾直轄市長、県市長選挙における民進党の大敗には大きく 4 つの意味があった。1 点目は、今回の選挙で有権者が蔡英文政権に対して不信任を示した点で、蔡政権は、直面する重要な問題を直視せざる得なくなった。新型コロナウイルス感染拡大、貧富の格差の拡大、インフレ、反社会的勢力問題、治安問題、詐欺や犯罪等の課題に対し、台湾人が安心できるよう、効果的な政策を打ち出すべきである。2 点目は、今回の選挙が国民党対民進党の対決という基本構造に戻った点で、民進党は今回の選挙で中間派や若手有権者の支持を獲得できず、矢板明夫・日本産経新聞台北支局長が指摘するように、どのように若者と中間派の支持を獲得するかが、民進党の喫緊の課題となる（矢板 2022）。3 点目は、今回の選挙で民進党は牙城である台南市と屏東県でも敗戦しかけた点で、支持基盤が強い地域でも形勢を変えることは難しくないことが明らかとなった。つまり政権運営を担う民進党は身を引き締めねばならず、有権者のこうした反応は、他の政党にとっても大いに参考となるだろう。最後に、今回の選挙はネガティブキャンペーン一色となり、とりわけ、論文不正スキャンダル話題には事欠かなかった。論文盗用は学術倫理に関するとは言え、政治の質を問うものではないが、候補者のイメージとは大いに関係がある。地方選挙レベルで目を引く政見や公約がない場合、有権者は比較的まともと思える候補者を選ぶしかない。今回の論文不正スキャンダルは、林智堅の政治生命に大きなダメージを与え、その他多数の候補者も同じく論文盗用を指摘されるネガティブキャンペーンが展開された。今回のネガティブキャンペーンに鑑み、今後の選挙でもネガティブキャンペーンが

選挙戦の軸となるのか、重要な政見や政策を重視しないようになってしまうのか、民主主義選挙の質の低下については熟考する価値があるだろう。

今回の統一地方選挙を経て、選挙後の局面には 3 つの重要なポイントがある。まず、民進党が大敗したことで、蔡英文は党主席を辞任した。蔡英文は 2024 年の総統選挙には出馬できないため、「ポスト蔡英文時代」が始まり、選挙結果は民進党の 2024 年総統候補の人事、国家問題、兩岸関係に影響を与える。第一に、蔡英文が主席を辞職し、副総統の頼清徳が党主席に就任したことは、頼清徳が 2024 年総統選挙の民進党有力候補となったことを意味する。しかし、総統選挙では中間派に対する選挙戦略を最大化しなければならないにも関わらず、頼清徳は明らかな台湾独立派で、これに鑑みると独立の立場は攻撃目標になりやすい。加えて、蘇煥智・前台南県長は、2023 年の内閣改造、内閣人事名簿からすると、頼清徳は行政権の行使において完全に重要でない立場に置かれると指摘している（蘇煥智 2023）。よって、2024 年の民進党総統選挙予備選は一つの政治力として存在感を示すだろう。第二に、国家問題についてみると、民進党が選挙後にこの苦い教訓を活かし、強く効果的な政見を打ち出すことが、与党として見せるべき決心である。第三に、兩岸関係についてみると、兩岸関係の醸成に伴って、全ての台湾人民による国防、義務兵役期間の延長（1 年）といった蔡英文の主張は各界の注目を集めている。国民党は今回の選挙で「民進党に投票することは、若者を戦場に送ること、国民党に投票することは兩岸が無戦場になること」と訴えた（蕭婷方 2022）。2024 年の総統選挙で、国民党のスローガンが再び台湾を賑わすことになれば、民進党が有権者の戦争に対する懸念を如何に払拭できるか、為政者の兩岸関係対処における知恵が試される。

次に、国民党についてみると、国民党の圧勝は、2024 年総統候補の人事にも関係する。朱立倫主席は今回の選挙で快勝し、党主席としての氣勢を高めたことから、2024 年の総統選では非常に重要な役割を演じるだろう。この他、再選を果たした侯友宜・新北市長も 2024 年国民党総統選挙候補者となる可能性が高い。更には、趙少康・中広（中國廣播公司）董事長、張亜中・孫文学校総校長も国民党総統候補に出馬の意欲を見せており、国民党総統選は党内予備選から高い注目を集めると見られ、勝ち進んだ候補者が 2024 年の台湾総統選挙の局面を牽引していだろう。

最後に、柯文哲・台湾民衆党主席は、今回の選挙で高虹安を推薦し、1 ポストを獲得した。同じく柯文哲が支持した黄珊珊は台北市長選できれいに敗れたとも言える。地方議員は 14 議席を獲得しており、結党 3 年目の小さな第三勢力からすれば悪くない政績と言える。2024 年総統選への出馬に意欲を見せている柯文哲からすると、少数派に発言権を提供するという役割を演じた。柯文哲が総統選に出馬して当選するかは未知数だが、国民党や民進党から流出した票も比較的多く、選挙戦を左右する可能性もある。よって、2024 年の総統選挙は、国民党、民進党、台湾民衆党の三つ巴、或いは連立となり、台湾の政党政治の持続性と変遷に影響を与えるだろう。

（寄稿：2023 年 2 月 3 日、採用：2023 年 4 月 13 日）

翻訳：渥美すが子（フリーランス翻訳者）

2022 年台灣直轄市長、縣市長選舉及 選舉後之局勢

湯晏甄

（國立中央大學客家語文暨社會科學學系專案助理教授）

張傳賢

（中央研究院政治學研究所副研究員）

【摘要】

2022 年 11 月 26 日台灣舉行中華民國地方公職人員選舉，其中，直轄市長與縣市長選舉備受各界矚目。此役被視為蔡英文政府第二任期的期中考試，也被視為 2024 年總統大選的前哨戰。這次選舉充斥著負面競選，主要有五大負面競選議題，分別是論文抄襲案、晶華緋聞案、疫苗合約黑箱、黑金政治，以及涉詐公帑案。這次選舉結果，多位地方首長順利連任。在民進黨方面，因諸多負面攻擊而受到傷害，再加上大環境對民進黨不利等因素，最後以大敗收場。反觀國民黨則是此役最大贏家，至於由時任台北市長柯文哲領軍的台灣民眾黨，表現尚可。此次選舉結果形成縣市長的政治版圖為藍擴大、綠縮小、白軍佔有一席之地，藍、綠、白的勢力消長將影響著台灣政黨政治的持續與變遷。

關鍵字：2022 選舉、負面競選、施政滿意度、現任者優勢

The 2022 Mayoral and County Magistrate Elections in Taiwan and the Post-Election Situation

Yen-chen Tang

Project Assistant Professor, Department of Hakka Language and
Social Sciences, National Central University.

Alex C. H. Chang

Associate Research Fellow, Institute of Political Science, Academia Sinica.

【Abstract】

The Taiwanese local elections for the Republic of China were held on November 26, 2022, where the elections of mayors and county magistrates obtained high levels of public attention from all sectors. The campaign was seen as a midterm exam for the second term of Tsai's administration and a prelude to the 2024 presidential election. The election was flooded with negative campaign news with five major issues occurring, namely, the case of thesis plagiarism, the Jinghua scandal, the "black box" of vaccine contracts, dark money politics, and fraud in the public sector. This election resulted in the successful re-election of several local officials. The Democratic Progressive Party was negatively affected by several attacks during the campaigns and additionally faced an unfavorable general environment. The party ultimately concluded the election with a heavy defeat. In contrast, the Kuomintang was the biggest winner in this campaign. The Taiwan People's Party, which was led by the then Taipei mayor Ko Wen-je, had an acceptable performance. The political map of the county magistrates formed after the election is as follows: the Kuomintang

expanded, the Democratic Progressive Party shrunk, and the Taiwan People's Party has a seat. The fluctuations in power between the Blue, Green, and White parties will affect the continuation and evolution of Taiwan politics.

Keywords: 2022 election, negative campaign, citizen satisfaction with governance, incumbent advantage

〈参考文献〉

- TPOC 台灣議題研究中心、2022「又提『擋疫苗』還有效果？數據曝：蔣萬安聲量都被這人搶走」9月13日、<https://reurl.cc/065LGb>（查閱時間：2023/1/31）。
- Taiwan Public Opinion Research Center. 2022. “Youti ‘dang yimiao’ haiyou xiaoguo? Shuju pu: Jiangwanan sheng liang dou bei zheren qiangzou” [Is It Still Effective to Mention “Vaccine-blocking?” Statistics Reveal Chiang Wan-an’s Voice Was Suppressed by This Person]. September 13 (Accessed on January 31, 2023).
- TVBS 民意調查中心、2022a「選前兩周、2022 新竹市長選情民調」11月12日、<https://www.tvbs.com.tw/poll-center>（查閱時間：2023/1/31）。
- TVBS Poll Center. 2022a. “Xuanqian liangzhou, 2022 xinzhz shizhang xuanqing mindiao” [2022 Hsinchu Mayor Election Poll Two Weeks Before the Election Day]. November 12 (Accessed on January 31, 2023).
- TVBS 民意調查中心、2022b「蔡英文總統連任兩周年滿意度民調」6月8日、<https://www.tvbs.com.tw/poll-center/2>（查閱時間：2023/1/31）。
- TVBS Poll Center. 2022b. “Caiyingwen zongtong lianren liangzhounian manyidu mindiao” [The Satisfactory Poll on the Second Anniversary of President Tsai Ing-wen’s Re-election]. June 8 (Accessed on January 31, 2023).
- yahoo 新聞、2022「台南市爐碴案 88 槍擊到官員收賄 議長選前舉國關注」12月23日、<https://reurl.cc/aaOYZD>（查閱時間：2023/1/31）。
- Yahoo News. 2022. “Tainanshi luchaan 88 qiangji dao guanyuan shouhui yizhang xuanqian juguo guanzhu” [From the Tainan Slag-dumping Case, 88-Bullet Shooting Incidents, to Official’s Bribes-accepting, These Have Attracted National Attentions before the City Council Speaker Election]. December 23 (Accessed on January 31, 2023).
- 于家麒、2022a「『天福案』遭有心人士夾報抹黑？金酒駁斥：強強聯手共創雙贏」『中時新聞網』10月24日、<https://reurl.cc/OEI27R>（查閱時間：2023/1/31）。
- Yu, Jia-qi. 2022a. “‘Tianfuan’ zao youxin renshi jia bao mohei? Jinjiu bochi: Qiangqiang lianshou gong chuang shuangying” [People with Bad Intentions Use “Tenfu Case” to Defame Kinmen Kaoliang Liquor Inc. (KKL). KKL Refutes: Two Strong Partners Jointly Create the Win-win Situation]. *China Times*. October 24 (Accessed on January 31, 2023).
- 于家麒、2022b「滬海大戰再過招陳福海要楊鎮滬『天福案』說清楚」『中時新聞網』11月19日、<https://reurl.cc/6L1pmr>（查閱時間：2023/1/31）。
- Yu, Jia-qi. 2022b. “Wu hai dazhan zai guozhao chenfu hai yao yangzhenwu ‘tianfuan’ shuo qingchu” [The Wu-hai War Rises Up Again. Chen Fu-hai Urges Yang Cheng-wu to Say Clearly on “Tenfu Case”]. *China Times*. November 19 (Accessed on January 31, 2023).
- 中央社、2022「爐碴案、88 槍擊、陳凱凌收賄、台南議長選舉恐引爆政壇？」『遠見雜誌』12月23日、<https://www.gvm.com.tw/article/97583>（查閱時間：2023/1/31）。
- Central News Agency. 2022. “Luchaan, 88 qiangji, chenkailing shouhui, tainan yizhang xuanju kong yinbao zhengtan?” [With the Slag-Dumping Case, 88-Bullet Shooting Incident,

- and Chen Kai-ling's Bribes-Accepting, Tainan City Council Speaker Election May Trigger a Political Bomb]. *Global Views Monthly*. December 23 (Accessed on January 31, 2023).
- 中央選舉委員會選舉及公投資料庫、<https://db.cec.gov.tw/ElecTable/Election?type=Mayor> (査閲時間：2023/1/31)。
- Central Election Commission, Election and Referendum Results Data (Accessed on January 31, 2023).
- 天下編輯部、2022「低調贏民心！2022《天下》縣市調查：潘孟安四度奪冠、陳其邁是進步王」『天下雜誌』9月20日、<https://www.cw.com.tw/article/5122827> (査閲時間：2023/1/31)。
- Common Wealth Editorial Board. 2022. “Didiao ying minxin! 2022 ‘tianxia’ xianshi diaocha: Panmengan sidu duoguan, chenqimai shi jinbuwang” [Winning People’s Hearts with a Low Profile! 2022 “Common Wealth” County/City Survey: Pan Meng-an Wins the Champion the Fourth Time, and Chen Chi-mai Makes the Most Progress]. *Common Wealth Magazine*. September 20 (Accessed on January 31, 2023).
- 王宏男、2021「第七屆金門縣長選舉選民投票行為之研究」『中華行政學報』28:134-152。
- Wang, Hung-nan. 2021. “Dijiqie jinmen xianzhang xuanju xuanmin toupiao xingwei zhi yanjiu” [A Study on the Voting Behavior of the Electorate in the 7th Kinmen County Magistrate Election]. *The Journal of Chinese Public Administration*, 28:134-152.
- 王駿杰、2022「高虹安拿公帑賺博士學位 沈慧虹競辦提三疑點」『聯合新聞網』9月27日、<https://udn.com/news/story/6656/6643593> (査閲時間：2023/1/31)。
- Wang, Jun-jie. 2022. “Gaohongan na gongtang zhuan boshi xuewei shenhuihong jingban ti sanyidian” [Kao Hung-an Earned Her Ph.D. with Public Money, and Shen Hui-hong’s Election Office Raises Three Suspicious Points]. *udn.com*. September 27 (Accessed on January 31, 2023).
- 司馬一青、2022「青菱專欄／屏東縣長藍綠竟打平 賭盤與民調落差很大」『菱傳媒』10月6日、<https://reurl.cc/rZMd1N> (査閲時間：2023/1/31)。
- Sima, Yi-qing. 2022. “Qingling zhuanlan/Pingdong xianzhang lanlü jing daping dupan yu mindiao luocha henda” [Qingling Column/The Blue and the Green Tie in the Pingtung Magistrate Election. There is a Huge Gap between the Gambling Table and the Poll]. *RW NEWS*. October 6 (Accessed on January 31, 2023).
- 矢板明夫、2022「台灣の九合一選挙」『矢板明夫倶楽部 Yaita Akio 臉書』11月29日、<https://www.facebook.com/YaitaAkio> (査閲時間：2023/3/15)。
- Shiban, Mingfu. 2022. “Taiwan de jiuheyi xuanju” [Taiwan’s Nine-in-one Elections]. *Shiban mingfu julebu, Yaita Akio facebook*. November 29 (Accessed on March 15, 2023).
- 吳正庭、2022「楊鎮浥陣營要求陳福海『立即退選』 陳：停止混淆視聽選舉奧步」『自由時報電子報』11月17日、<https://reurl.cc/NGk5q9> (査閲時間：2023/1/31)。
- Wu, Zheng-ting. 2022. “Yangzhenwu zhenying yaoqiu chenfuhai ‘liji tuixuan’ chen: Tingzhi hunxiao shiting xuanju aobu” [The Yang Cheng-wu Camp Urges Chen Fu-hai to “Immediately Withdraw from Election.” Chen: Stop Obfuscating the Election]. *Liberty*

- Times Net*. November 17 (Accessed on January 31, 2023).
- 吳采黎、2022「2022 屏東縣百里侯爭霸 / 周春米險勝一萬票 成屏東首位女縣長勉強守住綠地」『菱傳媒』11 月 26 日、<https://reurl.cc/bGLjVo>（查閱時間：2023/1/31）。
- Wu, Cai-li. 2022. “2022 pingdongxian bailihou zhengba/zhouchunmi xiansheng yiwán piao cheng pingdong shouwei nǚ xianzhang mianqiang shouzu lǚdì” [2022 Pingtung Magistrate Election/Chou Chun-mi Narrowly Won by 10,000 Votes. She Becomes Pingtung’s First Female County Magistrate and Barely Holds on the Green Territory]. *RW NEWS*. November 26 (Accessed on January 31, 2023).
- 吳書緯、2022「學甲土地遭填埋大量爐碴 監院糾正台南市政府」『自由時報電子報』5 月 19 日、<https://reurl.cc/bGLMKr>（查閱時間：2023/1/31）。
- Wu, Shu-wei. 2022. “Xuejia tudi zao tianmai daliang lucha jianyuan jiuzheng tainan shizhengfu” [The Control Yuan Corrected Tainan City Government on the Slag-dumping in Syuejia District Farmland]. *Liberty Times Net*. May 19 (Accessed on January 31, 2023).
- 呂欣正、2022「拿藍白拖催票！藍副議長再挺高虹安：集中選票下架民進黨」『TVBS 新聞網』11 月 24 日、<https://news.tvbs.com.tw/politics/1972050>（查閱時間：2023/1/31）。
- Lü, Xin-zhi. 2022. “Na lanbai tuo cuipiao! lan fuyizhang zaiting gaohongan: Jizhong xuanpiao xiajia minjindang” [Campaigning for Votes by Holding Blue-and-White Slippers, The Blue Camp Deputy Speaker Supports Kao Hong-an: Concentrating Votes to Delist the DPP]. *TVBS News*. November 24 (Accessed on January 31, 2023).
- 李成蔭、蔡家蓁、2022「宗親會遭指特權低價買金酒 楊鎮浚直球對決批陳福海操作網軍」『聯合新聞網』10 月 10 日、<https://udn.com/news/story/10930/6675944>（查閱時間：2023/1/31）。
- Li, Cheng-yin, and Jia-zhen Cai. 2022. “Zongqinhui zaozhi tequan dijia mai jinjiu yangzhenwu zhiqiu duijue pi chenfu hai caozuo wangjun” [Clan Association was Accused of being Privileged to Buy Liquors Produced by KKK at Low Prices, Yang Cheng-wu Criticized Chen Fu-hai of Operating Cyber Warriors]. *udn.com*. October 10 (Accessed on January 31, 2023).
- 李俊毅、2022「論文抄襲攻防戰 9 人排行榜出爐網：第一名太誇張…」『中天新聞網』9 月 24 日、<https://reurl.cc/KXmZI9>（查閱時間：2023/1/31）。
- Li, Jun-yi. 2022. “Lunwen chaoxi gongfangzhan 9 ren paihang bang chulu wang: Diyiming tai kuazhang…” [A Nine-person Raking Comes Out on Thesis Plagiarism. Netizens: The First Place is Outrageous]. *Cti news*. September 24 (Accessed on January 31, 2023).
- 李昶毅、2022「快新聞 / 林耕仁不去北機站提交事證了！稱『不以訟止謗』回歸市政討論」『民視新聞網』11 月 8 日、<https://reurl.cc/eW1vbm>（查閱時間：2023/1/31）。
- Li, Chang-yi. 2022. “Kuaixinwen/lingengren buqu beijingzhan tijiao shizheng le! cheng ‘buyi song zhibang’ huigui shizheng taolun” [Breaking News/Lin Geng-ren is Not to Submit Evidences to the Bureau of Investigation Northern Regional Mobile Workstation, Saying that “No Litigation Against Slander,” and Refocusing on Municipal Administration]. *FTV News*. November 8 (Accessed on January 31, 2023).

杜忠聰、2022「臺南市議員蔡育輝、李中岑聯手請黃偉哲除三害、希望黨政金退出台南市政府」『勁報』6月22日、<https://reurl.cc/330KL9>（査閲時間：2023/1/31）。

Du, Zhong-cong. 2022. "Tainan shiyiyuan caiyuhui, lizhongcen lianshou qing huangweizhe chu sanhai, xiwang dangzhengjin tuichu tainan shizhengfu" [Cai Yu-hui, Tainan City Councilor, and Li Zhong-cen, Jointly Urge Huang Wei-che to Eliminate Three Evils so that the Party, the Politics, and the Money can Withdraw from the Tainan City Government]. *Power News*. June 22. (Accessed on January 31, 2023).

辛啓松、2022「台南市百里侯爭霸 / 黃偉哲慘贏 4.5 萬票 六都得票差距最小『挑戰剛開始』」『勁報』11月26日、<https://rwnews.tw/article.php?news=5895>（査閲時間：2023/1/31）。

Xin, Qi-song. 2022. "Tainanshi bailihou zhengba/ huangweizhe canying 4.5 wanpiao liudu depiao chaju zuixiao 'tiaozhan gang kaishi'" [Tainan Magistrate Election/Huang Wei-che Won Badly with 45,000 Votes, and It is the Narrowest Won Among the Six Municipalities. "Challenges has Just Started"]. *Power News*. November 26 (Accessed on January 31, 2023).

林政緯、陳慧菁、2016「2014 年金門地方選舉組織動員及選舉因素分析：以第六屆縣長選舉為例」『中國地方自治』69(10): 33-48。

Lin, Zheng-wei, and Hui-jing Chen. 2016. "2014 nian jinmen difang xuanju zuzhi dongyuan ji xuanju yinsu fenxi: Yi diliujie xianzhang xuanju weili" [Organizational Mobilization and Election Factor Analysis on 2014 Kinmen Local Election: A Case Study on the 6th Magistrate Election]. *Zhongguo difang zizhi*. 69(10): 33-48.

政治中心、2022「蔡英文定調『林智堅沒抄襲』下令全黨力挺 黨內開砲：跟台大對幹是火上加油！」『台灣好新聞』8月10日、<https://reurl.cc/X51z3D>（査閲時間：2023/1/31）。

Zhengzhi zhongxin. 2022. "Caiyingwen dingdiao 'linzhijian mei chaoxi' xialing quandang liting dangnei kaipao: Gen taida duigan shi huoshang jiayou!" [Tsai Ing-wen Concludes that "Lin Chih-chien Did Not Plagiarize," and Asks for Party's Full Support. Members in the Party Fire: Fighting Against National Taiwan University is Adding Fuel to the Fire!]. *TaiwanHot*. August 10 (Accessed on January 31, 2023).

晏明強、2022「幕後」自家都看衰？林耕仁猛攻高虹安黨內炸鍋『流失白票又便宜綠營』急煞止損『風傳媒』11月9日、<https://www.storm.mg/article/4601911>（査閲時間：2023/1/31）。

Yan, Ming-qiang. 2022. "Muhou: Zijia ren doukan shuai? lingengren menggong gaohongan dangnei zhaguo 'liushi baipiao you pianyi luying' jisha zhisun" [Behind the Scene: People in his Own Side are Pessimistic? Lin Geng-ren's Attacking Roughly on Kao Hung-an Angers Members of His Party. "It Loses Votes and Benefits the Green Camp." Lin Should Immediately Stop to Reduce Damages]. *The Storm Media*. November 9 (Accessed on January 31, 2023).

張介文、2022「林耕仁被摸頭？ 榮譽主委林政則：高虹安不是壞人」『鏡新聞』11月8日、<https://reurl.cc/065YoA>（査閲時間：2023/1/31）。

- Zhang, Jie-wen. 2022. "Lingengren bei motou? rongyu zhuwei linzhengze: Gaohongan bushi huai ren" [Lin Geng-ren was Appeased? The Honorary Chairman Lin Junq-tzer: Kao Hung-an is not a Bad Guy]. *mnews*. November 8 (Accessed on January 31, 2023).
- 張世燮、許金土、2004「社會關係取向對選民投票行為之影響：2001 年金門縣長選舉個案研究」『中國行政評論』13(4): 143-175。
- Chang, Shih-ying, and Kin-tui Hsu. 2004. "Shehui guanxi quxiangdui xuanmin toupiao xingwei zhi yingxiang: 2001 nian jinmen xianzhang xuanju ge'an yanjiu" [How the Role of Social Relations Affects Voting Behavior: A Case Study of Kinmen County's Magistrate Election, 2001]. *The Chinese Public Administration Review*, 13(4): 143-175.
- 張佑宗、2006「選舉事件與選民的投票抉擇：以台灣 2004 年總統選舉為分析對象」『東吳政治學報』22: 121-160。
- Chang, Yu-tzung. 2006. "Xuanju shijian yu xuanmin de toupiao jueze: Yi taiwan 2004 nian zongtong xuanju wei fenxi duixiang" [The Effect of Campaigning Events on Vote Choice: A Study of the 2004 Presidential Election in Taiwan]. *Soochow Journal of Political Science*, 22: 121-160.
- 張茂雄、2022「賴峰偉再控重光案弊端 陳光復提涓京、大澎湖案反擊」『聯合新聞網』11 月 2 日、<https://reurl.cc/Z10Rdl> (查閱時間：2023/1/31)。
- Zhang, Mao-xiong. 2022. "Laifengwei zaikong chongguangan biduan chengguangfu ti meijing, dapenghuan fanji" [Lai Feng-wei Re-accuses the Corrupt Practices in the Chongguang Case. Chen Kuang-fu Mentions the Meijing Case. The Great Penghu Case Strikes Back]. *udn.com*. November 2 (Accessed on January 31, 2023).
- 張卿卿、2000「美國政治競選廣告效果研究的回顧」『廣告學研究』14: 1-29。
- Chang, Ching-ching. 2000. "Meiguo zhengzhi jingxuan guanggao xiaoguo yanjiu de huigu" [The Impacts of Political Advertising-A Review of Studies in the U.S.]. *The Journal of Advertising Research*, 14: 1-29.
- 張峻豪、2022「張峻豪：一場還是不見地方、缺乏議題與抗中保台的負面選舉」『端傳媒』10 月 24 日、<https://reurl.cc/Z10YjW> (查閱時間：2023/1/31)。
- Zhang, Jun-hao. 2022. "Zhangjunhao: Yichang haishi bujian difang, quefa yiti yu kangzhong baotai de fumian xuanju" [Zhang Jun-hao: It is a Negative Election of Protecting Taiwan Against China, Without Seeing Local Areas and Issues]. *Initium Media*. October 24 (Accessed on January 31, 2023).
- 張傳賢、2012「政黨認同、負面資訊的競爭與選民投票抉擇：2010 年五都選舉的實證研究」『選舉研究』19(2): 37-70。
- Chang, Alex C. H. 2012. "Zhengdang rentong, fumian zixun de jingzheng yu xuanmin toupiao jueze: 2010 nian wudou xuanju de shizheng yanjiu" [Party Identification, Negative Information, and Voting Choices: An Empirical Analysis of Municipal Mayoral Election in 2010]. *Journal of Electoral Studies*, 19(2): 37-70.
- 郭瓊俐、2022「基隆市長選情」謝國樑強勢回歸、蔡適應遭逢硬仗 林右昌的滿意度高卻無法完全轉嫁」『財訊』10 月 31 日、<https://reurl.cc/gQO88N> (查閱時間：2023/1/31)。

- Guo, Qiong-li. 2022. “Jilong shizhang xuanqing: Xieguoliang qiangshi huigui, caishiyiing zaofeng yingzhang linyouchang de manyidu gao que wufa wanquan zhuanjia” [Keelung Mayor Election: Hsieh Kuo-liang Wins with a Strong Comeback while Tsai Shih-Ying is Encountering Rough Battle. Lin Yu-chang’s Satisfaction is High but Cannot be Fully Passed on to Tsai]. *WEALTH MAGAZINE*. October 31 (Accessed on January 31, 2023).
- 陳昀、2022「民進黨敗選檢討報告出爐 鄭文燦：黑金、治安、論文爭議」『自由時報電子報』12月28日、<https://reurl.cc/6LrgO5>（査閲時間：2023/1/31）。
- Chen, Yun. 2022. “Minjindang baixuan jiantao baogao chulu zhengwencan: Heijin, zhian, lunwen zhengyi” [DPP’s Failed Elections Review Report Comes Out. Cheng Wen-tsan: Black Gold, Law and Order, and the Dissertation Disputes]. *Liberty Times Net*. December 28 (Accessed on January 31, 2023).
- 陳建民、李能慧、呂怡艷、2005「金門地區選民投票行為之研究－從總統、立法委員和縣長選舉結果分析」『國立金門技術學院學報』1: 103-127。
- Chen, Chien-min, Neng-huei Lee and I-yen Lu. 2005. “Jinmen diqu xuanmin toupiao xingwei zhi yanjiu---cong zongtong, lifawei yuan he xianzhang de xuanju jieguo fenxi” [The Voting Behavior in Kinmen County---A Case Study of the Presidential, Magistrate, and Legislator Elections]. *Journal of National Kinmen Institute of Technology*, 1: 103-127.
- 陳政嘉、2022「縣市長大選政黨版圖變化 藍天一大片 綠退守北港溪以南 首見民眾黨來插旗」『新頭殼 newtalk』11月26日、<https://reurl.cc/Z1Kp2A>（査閲時間：2023/1/31）。
- Chen, Zheng-jia. 2022. “Xianshizhang daxuan zhengdang bantu bianhua lantian yidapian lü tuishou beigangxi yinan shoujian minzhongdang lai chaoqi” [Changes of Political Landscape in the Magistrate and Mayor Elections. The Blue Camp Has Won Most Areas, while the Green Camp is Withdrawing to the South of Beigang River. Taiwan People’s Party Has Won the Election for the First Time]. *Newtalk*. November 26 (Accessed on January 31, 2023).
- 陳崑福、2022「屏鵝公路種樹百里淪『爛路百里』 台電選前調近 500 人趕工降民怨」『ETtoday 新聞雲』11月20日、<https://today.line.me/tw/v2/article/LXRm3GM>（査閲時間：2023/1/31）。
- Chen, Kun-fu. 2022. “Pinge gonglu zhongshu baililun ‘lanlubaili’ taidian xuanqian diaojin 500 ren gangong jiang minyuan” [Planting Trees Along the Ping-E Highway Leads to “Hundred-Mile Bad Road.” Taipower Dispatched Nearly 500 People to Get the Work Done before the Election to Reduce Public Grievances]. *ETtoday*. November 20 (Accessed on January 31, 2023).
- 陶本和、2022「高虹安負面聲量比陳時中高 4 倍 學者：林耕仁強攻幫綠營做嫁衣」『ETtoday 新聞雲』11月10日、<https://reurl.cc/MXanAL>（査閲時間：2023/1/31）。
- Tao, Ben-he. 2022. “Gaohongan fumian shengliang bi chenshizhong gao 4 bei xuezhe: Lingengren qianggong bang luying zuo jiayi” [Kao Hung-an’s Negative Voice is Four Times Higher than That of Chen Shih-chung. Scholars: Lin Geng-ren’s Fierce Attack Benefits the Green Camp]. *ETtoday*. November 10 (Accessed on January 31, 2023).
- 曾吉松、2022「影 / 批民進黨『黑道治國』 國民黨團諷『黑金』就在蔡英文身邊」

- 『聯合新聞網』11 月 15 日、<https://udn.com/news/story/6656/6766030>（查閱時間：2023/1/31）。
- Ceng, Ji-song. 2022. “Ying/pi minjindang ‘heidao zhiguo’ guomindang tuanfeng ‘heijin’ jiuza caiyingwen shenbian” [Video/Criticizing DPP’s “Ruling the Country with Mafia.” KMT Satirizes “Black Gold” is by Tsai Ing-wen’s Side]. *udn.com*. November 15 (Accessed on January 31, 2023).
- 游盈隆、2023「一份未曾公布的重要民調：關於林智堅論文門案」『游盈隆臉書』1 月 24 日、<https://www.facebook.com/ylyou1956>（查閱時間：2023/1/31）。
- You, Ying-long. 2023. “Yifen weiceng gongbu de zhongyao mindiao: Guanyu linzhijian lunwen menan” [An Important Unreleased Poll: Regarding to Lin Chih-chien’s Thesisgatew3]. *You Ying-long Facebook*. January 24 (Accessed on January 31, 2023).
- 游清鑫、2001「競選策略效果的探討：兼論 2000 年總統選舉之『興票案』」徐永明、黃紀主編『政治分析的層次』韋伯出版社。
- You, Qing-xin. 2001. “Jingxuan celüe xiaoguo de tantao: Jianlun 2000 nian zongtong xuanju zhi ‘xingpiaoan’” [Discussion on the Effect of Campaign Strategy: Concurrent Discussion on the “Xingpiao Case” in 2000 Presidential Election]. Yong-ming Xu and Ji Huang, eds. *Zhengzhi fenxi de cengci [Levels of Political Analysis]*. Weber Publication.
- 菱傳媒、2022「菱周周民調 / 台南藍綠拉鋸不到 8 個百分點 黃偉哲 44% 對決謝龍介 36.38%」10 月 26 日、<https://rwnews.tw/article.php?news=5296>（查閱時間：2023/1/31）。
- RW NEWS. 2022. “Lingzhouzhou mindiao/tainan lanlü laju budao 8 ge baifendian huangweizhe 44% duijue xielongjie 36.38%” [RW News Weekly Poll/Tainan’s Tug-of-War between the Blue and the Green Camps is Less Than 8% in Between]. October 26 (Accessed on January 31, 2023).
- 黃佩涵、張國樑、張梓嘉、2022「九合一大選 / 周玉蔻告假主持節目 蔣萬安籲盡快向受害人道歉」『公視新聞網』9 月 28 日、<https://news.pts.org.tw/article/601968>（查閱時間：2023/1/31）。
- Huang, Pei-han, Guo-liang Zhang and Zi-jia Zhang. 2022 “Jiuheyi daxuan/zhouyukou gaojia zhuchi jiemu jiangwanan yu jinkuai xiang shouhairan daoqian” [Nine-in-one Elections/Chou Yuh-kow Takes a Leave of Absence to Host the Show. Chiang Wan-an Asks for Her Apology to the Victim]. *Gongshi Xinwenwang (PTS NEWS)*. September 28 (Accessed on January 31, 2023).
- 黃建豪、2022「『疫苗採購缺失都在他任內！』藍黨團要陳時中『退選負責』」『新頭殼 newtalk』10 月 17 日、<https://reurl.cc/X5droa>（查閱時間：2023/1/31）。
- Huang, Jian-hao. 2022. “‘Yimiao caigou qeshi douzai ta rennei!’ Lan dangtuan yao chenshizhong ‘tuixuan fuze’” [“All Vaccine Procurement Faults Happened in His Tenure!” The Blue Camp Urge Chen Shih-chung to “Withdraw from the Election”]. *Newtalk*. October 17 (Accessed on January 31, 2023).
- 黃國敏、吳皓瑀、2018「新竹市政治版圖之研究」『中華行政學報』23: 45-63。

- Hwang, Edward K., and Hao-Yu Wu. 2018. “Xinzhushi zhengzhi bantu zhi yanjiu” [The Study of Political Landscape for Hsinchu City]. *The Journal of Chinese Public Administration*, 23: 45-63.
- 黃皓筠、2022「【2022 九合一選舉】國民黨選前分裂澎湖縣由藍轉綠、民進黨陳光復重回縣長寶座」『關鍵評論』11 月 26 日、<https://www.thenewslens.com/article/176398>（查閱時間：2023/1/31）。
- Huang, Hao-yun. 2022. “‘2022 jiuheyi xuanju’ guomindang xuanqian fenlie penghuxian you lan zhuan lü, minjindang chengguangfu chonghui xianzhang baozuo” [“2022 Nine-in-one Elections” KMT Splits Before the Election, and Penghu County Has Turn Green from Blue. DPP’s Chen Kuang-fu Return to the Throne of County Magistrate]. *THE NEWS LENS*. November 26 (Accessed on January 31, 2023).
- 楊金城、2022「台南學甲 88 槍擊案指向光電利益糾紛 楊展華稱策劃犯案並提供衝鋒槍」『自由時報電子報』12 月 16 日、<https://reurl.cc/ROpAMn>（查閱時間：2023/1/31）。
- Yang, Jin-cheng. 2022. “Tainan xuejia 88 qiang qiangjian zhixiang guangdian liyi jiufen yangzhanhua cheng cehua fanan bing tigong chongfengqiang” [Slag-dumping in Tainan’s Syuejia District, and 88-Bullet Shooting Incident Relate to Disputes of Interest on the Solar Power. Yang Zhan-hua Said He Planned for the Crime and Provided the Submachine Gun]. *Liberty Times Net*. December 16 (Accessed on January 31, 2023).
- 蔡宗憲、2022「擾民『種樹百里』讓選戰『翻車百里』綠營鐵板鄉鎮都輸慘」『自由時報電子報』11 月 26 日、<https://reurl.cc/mZE6r7>（查閱時間：2023/1/31）。
- Cai, Zong-xian. 2022. “Raomin ‘zhongshu baili’ rang xuanzhan ‘fanche baili’ luying tie ban xiangzhen dou shucan” [“Hundred-mile Tree-Planting” Disturbs the Public and Leads to the “Hundred-mile Failure” in Elections. The Green Camp Lost Miserably in Most of Iron Townships]. *Liberty Times Net*. November 26 (Accessed on January 31, 2023).
- 蔡晉宇、2022「謝龍介指控黃偉哲重大貪瀆 派律師向靈骨業者索賄千萬」『聯合新聞網』7 月 7 日、<https://udn.com/news/story/6656/6442889>（查閱時間：2023/1/31）。
- Cai, Jin-yu. 2022. “Xielongjie zhikong huangweizhe zhongda tandu pai lüshi xiang linggu yezhe suohui qianwan” [Hsieh Lung-chieh Accuses Tainan Mayor Huang Wei-zhe of Bribery, Accusing Huang of Sending Lawyer to Ask for Tens of Millions of Bribes from the Funeral Industry]. *udn.com*. July 7 (Accessed on January 31, 2023).
- 蔡慧貞、2022「【內幕】藍綠支持一把抓！周春米獲屏東國民黨大咖相挺 遭諷『藍營林派女兒』」『上報』10 月 6 日、<https://reurl.cc/MXq10K>（查閱時間：2023/1/31）。
- Cai, Hui-zhen. 2022. “‘Neimu’ lanlü zhichi yibazhua! zhouchunmi huo pingdong guomindang dakaxiangting zaofeng ‘lanying linpai nüer’” [“Inside Story” Gaining Support from Both Green and Blue Camps! Chou Chun-mi has Win Support from the Big Player of KMT in Pingtung. She was Ridiculed as the “Daughter of the Lin Faction in the Blue Camp”]. *UP MEDIA*. October 6 (Accessed on January 31, 2023).
- 蕭婷方、2022「『票投民進黨、青年上戰場？』林濁水提醒蔡總統：兵役直球對決 不怕有

- 戰場」『今周刊』12月15日、<https://reurl.cc/X5d9x0>（査閲時間：2023/1/31）。
- Xiao, Ting-fang. 2022. “‘Piaotou minjindang, qingnian shang zhanchang?’ Linzhuoshui tixing cai zongtong: Bingyi zhiqiu duijue bupa you zhanchang” [“Vote for the DPP, and the Youth Go to the Battlefield?” Lin Cho-shui Reminded President Tsai: She Should Use Straight Balls to Deal with the Military Service Issue So That There Will Be No More Battlefield]. *Business Today*. December 15 (Accessed on January 31, 2023).
- 謝文哲、2022「疫苗合約保密 30 年挨批黑箱 指揮中心首曝總預算『每劑均價』」『鏡週刊』8月22日、<https://www.mirrormedia.mg/story/20220822edi013/>（査閲時間：2023/1/31）。
- Xie, Wen-zhe. 2022. “Yimiao heyue baomi 30 nian aipi heixiang zhihui zhongxin shoupu zongyusuan ‘meiji junjia’” [That the Vaccine Contract Will be Kept Secret for 30 Years was criticized for being Rigged. CDC Revealed the Whole Budget in the “Price Per Dose”]. *Mirror Media*. August 22 (Accessed on January 31, 2023).
- 魏斌、2022「影 / 潘孟安連 4 年民調第一破紀錄 笑談卸任最想好好睡」『聯合新聞網』9月20日、<https://reurl.cc/DXGn6Q>（査閲時間：2023/1/31）。
- Wei, Bin. 2022. “Ying/panmengan lian 4 nian mindiao diyi pojilu xiaotan xieren zui xiang hao hao shui” [Video/Pan Meng-an Has Won the First Place in Polls for Four Consecutive Years, and It has Broken the Record. He Said he Wants a Good Sleep after Stepping Down]. *udn.com*. September 20 (Accessed on January 31, 2023).
- 羅琦文、2022「你種樹、我摔車 屏鵝公路工程爆民怨『用選票教訓』」『壹蘋新聞網』10月12日、<https://reurl.cc/065KNx>（査閲時間：2023/1/31）。
- Luo, Qi-wen. 2022. “Ni zhong shu, wo shuaiche pingge gonglu gongcheng bao minyuan ‘yong xuanpiao jiaoxun’” [Your Planting Trees Lead to My Falling off the Bike. Ping-E Highway Construction Work Causes Public Grievances. “Teaching Government Lessens with Votes”]. *Next Apple News*. October 12 (Accessed on January 31, 2023).
- 蘇煥智、2023「陳建仁組閣所代表的意義在那裡呢？」『蘇煥智臉書』1月27日、<https://www.facebook.com/SuHuanChih>（査閲時間：2023/3/15）。
- Su, Huan-zhi. 2023. “Chenjianren zuge suo daibiao de yiyi zai nali ne?” [What is the Significance of Chen Chien-jen’s Cabinet Formation?]. *Su Huan-zhi Facebook*, January 27 (Accessed on March 15, 2023).
- Groenendyk, Eric. 2008. “Justifying Party Identification: A Case of Identifying with the Lesser of two Evils.” Presented at the 2008 American Political Science Association Annual Conference, Boston.
- Johnson-Cartee Karen S., and Gray A. Copeland. 1989. “Southern Voters’ Reaction to Negative Political Ads in 1986 Election.” *Journalism & Mass Communication Quarterly*, 66(4): 888-986.
- Johnson-Cartee Karen S., and Gray A. Copeland. 1991. *Negative Political Advertising: Coming of Age*. Hillsdale: Lawrence Erlbaum Associates, Publishers.